

弊社取り扱いの スミチオン乳剤 は製品規格により  
SDS が異なりますのでご注意願います。

○農林水産省登録 第 22647 号

ホクサンスミチオン乳剤 … 500 ml、5 l 規格

SDS は本紙 2 枚目～ 8 枚目

○農林水産省登録 第 4962 号

住化スミチオン乳剤 … 1 l 規格

SDS は本紙 9 枚目～ 23 枚目

よろしくお願ひ致します。



# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ホクサンスミチオン乳剤  
 供給者の会社名称 : ホクサン株式会社  
 住所 : 〒061-1111 北海道北広島市北の里 27 番地 4  
 担当部門 : 農業科学研究所  
 電話番号 : 011-370-2103  
 FAX 番号 : 011-370-2070  
 緊急連絡先 : 営業部 業務課  
 電話番号 : 011-370-2333  
 e-mail : gyomuka@hokusan-kk.jp  
 推奨用途 : 農薬  
 使用上の制限 : 農薬登録以外での使用不可  
 整理番号 : 22647-2

## 2. 危険有害性の要約

### 【化学品の GHS 分類】

物理化学的危険性	:	爆発物	分類できない	
		可燃性ガス	区分に該当しない	
		エアゾール	区分に該当しない	
		酸化性ガス	区分に該当しない	
		高压ガス	区分に該当しない	
		引火性液体	区分 3	
		可燃性固体	区分に該当しない	
		自己反応性化学品	区分に該当しない	
		自然発火性液体	区分に該当しない	
		自然発火性固体	区分に該当しない	
		自己発熱性化学品	分類できない	
		水反応可燃性化学品	区分に該当しない	
		酸化性液体	区分に該当しない	
		酸化性固体	区分に該当しない	
		有機過酸化物	区分に該当しない	
		金属腐食性物質	分類できない	
		鈍性化爆発物	分類できない	
	健康有害性	:	急性毒性（経口）	区分 4
			急性毒性（経皮）	区分に該当しない
			急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない
		急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない	
		急性毒性（吸入：粉じん及びミスト）	分類できない	
		皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない	
		眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A	
		呼吸器感作性	区分に該当しない	
		皮膚感作性	区分に該当しない	
		生殖細胞変異原性	区分に該当しない	
		発がん性	区分 2	



	生殖毒性	区分1
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1（神経系、呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓）
		区分3（麻酔作用）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1（呼吸器、神経系）
	誤えん有害性	分類できない
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分1
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分1
	オゾン層への有害性	区分に該当しない

【GHS ラベル要素】

絵表示又はシンボル :



注意喚起語	:	危険
危険有害性情報	:	引火性液体及び蒸気 (H226) 飲み込むと有害 (H302) 強い眼刺激 (H319) 眠気又はめまいのおそれ (H336) 発がんのおそれの疑い (H351) 生殖能又は胎児へ悪影響のおそれ (H360) 臓器の障害 (H370) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (H372) 水生生物に非常に強い毒性 (H400) 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性 (H410)
注意書き	安全対策	:
		子供の手の届かないところに置くこと。(P102) 使用前にラベルをよく読むこと。(P103) 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202) 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210) 容器を密閉しておくこと。(P233) 容器を接地しアースをとること。(P240) 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。(P241) 火災を発生させない工具を使用すること。(P242) 静電気放電に対する措置を講ずること。(P243) 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260) 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。(P261) 取扱い後は手、顔等をよく洗うこと。(P264) この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270) 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。(P271) 環境への放出は避けること。(P273) 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
応急措置	:	飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。(P301+P312) 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワーで】洗うこと。(P303+P361+P353) 吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)



- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)
- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。(P308+P313)
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
- 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。(P314)
- 特別な処置が必要である（このラベルの安全使用上の注意を見よ）。(P321)
- 口をすすぐこと。(P330)
- 眼の刺激性が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。(P337+P313)
- 火災の場合：消火するために初期火災には粉末、二酸化炭素、乾燥砂、大規模火災には粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂を使用すること。(P370+P378)
- 漏出物を回収すること。(P391)
- 保管（貯蔵）：換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)
- 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)
- 施錠して保管すること。(P405)
- 廃棄：内容物/容器を国及び地方自治体の廃棄物処理に関する法律・省令に従って適切に廃棄すること。(P501)

**3. 組成及び成分情報**

- 化学物質・混合物の区別：混合物
- 農薬の種類名：MEP 乳剤

化学名又は一般名	MEP	キシレン	エチルベンゼン
CAS 番号	122-14-5	1330-20-7	100-41-4
濃度 (%)	50.0	12	21
官報公示整理番号			
化審法	3-2616	3-3	3-28
安衛法	4-(9)-232	—	—
安衛法 表示・通知対象物質	349	136	70
化管法 指定化学物質	(2023年3月31日まで) 1種 政令番号 251 (2023年4月1日から) 1種 管理番号 251	(2023年3月31日まで) 1種 政令番号 80 (2023年4月1日から) 1種 管理番号 80	(2023年3月31日まで) 1種 政令番号 53 (2023年4月1日から) 1種 管理番号 53

備考) 残りは有機溶剤・界面活性剤等を含むが、企業秘密のため非公開。

**4. 応急措置**

- 吸入した場合：新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。  
必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。
- 皮膚に付着した場合：多量の水及び石鹸で洗い流す。  
水泡、痛みなどの症状が出た場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合：直ちに清浄な水で15分以上洗浄した後、医師の処置を受ける。  
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄を続ける。
- 飲み込んだ場合：揮発性液体なので、吐き出させるとかえって肺への吸引等の危険性が増す。  
直ちに、医療措置を受ける手配をする。



水でよく口の中を洗わせても良い。

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

： 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

： 特になし。

**5. 火災時の措置**

- 適切な消火剤 : 初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。  
大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。  
粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂
- 使ってはならない消火剤 : 特になし。
- 火災時の特有の危険有害性 : 当該製品は分子中にN、P、S、ハロゲン含有しているため火災時に刺激性もしくは有毒なヒュームまたはガスを放出する。
- 特有の消火方法 : 消火作業は風上から行う。  
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。  
周囲の設備等に散水して冷却する。  
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。  
関係者以外は安全な場所に退去させる。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。  
消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

**6. 漏出時の措置**

- 人体に対する注意事項 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- 保護具及び緊急措置 : 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。  
風上から作業し、風下の人を退避させる。  
着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。  
多量の場合、人を安全に退避させる。  
漏出時の処理を行なう際には、必ず「8. 暴露防止及び保護措置」の保護具を着用すること。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。  
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

**7. 取扱い及び保管上の注意**

- 取扱い
- 技術的対策 : 取扱いは、換気のよい場所で行う。  
取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼および身体洗浄を行うための設備を設置する。  
飛散した蒸気（粉じん）を吸い込まないようにする。  
屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。  
取扱いの都度、容器を密閉する。  
皮膚、粘膜または着衣に触れたり、眼に入らないようにする。  
取扱い場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。



取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。  
 容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。  
 火気厳禁（引火点<70℃）

- 排気対策 : 屋内で取扱う場合は、局所排気内、又は全体換気設備のある場所で取扱う。
- 安全取扱い注意事項 : 特になし。
- 接触回避 : 消防法危険物第4類に該当するので、消防法危険物第1、6類との接触を避ける。
- 衛生対策 : 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

- 安全な保管条件 : 通風のよい場所で容器を密閉し保管する。  
 直接日光が当たらないように保管する。  
 施錠して保管する。  
 火気厳禁（引火点<40℃）  
 指定数量 1000L。  
 消防法危険物第4類に該当するので、消防法危険物第1、6類との接触を避ける。
- 安全な容器包装材料 : 別の容器に小分けして保管しないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 混合キシレン 50ppm  
 エチルベンゼン 20ppm
- 許容濃度 : フェニトロチオン（経皮吸収）  
 日本産業衛生学会 OEL-M 1mg/m<sup>3</sup> <sup>2)</sup>  
 混合キシレン 日本産業衛生学会 50ppm、217mg/m<sup>3</sup>  
 ACGIH TLV-TWA 100ppm、TLV-STEL 150ppm  
 エチルベンゼン 日本産業衛生学会 20ppm、87mg/m<sup>3</sup>（暫定）  
 ACGIH TLV-TWA 20ppm
- 設備対策 : できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。  
 取扱い場所に、全体換気装置を設置することが望ましい。  
 取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼および身体洗浄を行うための設備を設置する。
- 保護具 呼吸器用保護具 : 農薬用マスク（通常時）、防毒マスク（消火活動時）  
 手の保護具 : ゴム手袋（通常時）、耐熱性手袋（消火活動時）  
 眼、顔面の保護具 : 保護眼鏡、保護面  
 皮膚及び身体の保護具 : 帽子、ゴム長靴、不浸透性防除衣

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体 <sup>1)</sup>
- 色 : 黄赤色 <sup>1)</sup>
- 臭い : 特異臭
- 沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
- 可燃性 : データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : データなし
- 引火点 : 32℃ <sup>1)</sup>
- 自然発火点 : データなし
- 分解温度 : データなし
- pH : 3.7 <sup>1)</sup>



動粘性率 : データなし  
蒸気圧 : データなし  
密度及び／又は相対密度 : 1.11<sup>1)</sup>  
相対ガス密度 : データなし  
粒子特性 : データなし

**10. 安定性及び反応性**

反応性 : 通常の取扱い条件下では反応しない。  
化学的安定性 : 通常の取扱い条件下では安定。  
危険有害反応可能性 : 特になし。  
避けるべき条件 : 極低温、高温、多湿。  
混触危険物質 : 消防法危険物第4類に該当するので、消防法危険物第1、6類との接触を避ける。  
危険有害な分解生成物 : 当該製品は分子中にN、P、S、ハロゲン含有しているため火災時に刺激性もしくは有毒なヒュームまたはガスを放出する。

**11. 有害性情報**

急性毒性 : 経口 LD<sub>50</sub> ラット 1,900mg/kg (ラット♂)、2,250mg/kg (ラット♀)<sup>1)</sup> 【区分4】  
経皮 LD<sub>50</sub> ラット 3,200mg/kg (ラット♂)、LD50 3,000mg/kg (ラット♀)<sup>1)</sup> 【区分に該当しない】  
皮膚腐食性／刺激性 : 刺激性(ウサギ)<sup>1)</sup>があるが、区分に該当しない  
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 中等度の刺激性あり(ウサギ)<sup>1)</sup> 【区分2A】  
呼吸器感受性 : データなし  
皮膚感受性 : 感受性なし(モルモット)<sup>1)</sup> 【区分に該当しない】  
生殖細胞変異原性 : データなし  
発がん性 : 区分2の成分を≥0.1%含むため、本製品も区分2とした。  
生殖毒性 : 区分1の成分を≥0.3%含むため、本製品も区分1とした。  
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分1(神経系、呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓)の成分を≥10%、区分3(麻酔作用)の成分を≥20%含むため、本製品も 区分1(神経系、呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓)、区分3(麻酔作用)とした。  
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1(呼吸器、神経系)の成分を≥10%含むため、本製品も区分1(呼吸器、神経系)とした。  
誤えん有害性 : 区分に該当しない

**12. 環境影響情報**

生態毒性 : 水生環境有害性 短期(急性) オオミジンコの急性毒性データから区分1とした  
水生環境有害性 長期(慢性) 慢性毒性データがないため、オオミジンコの急性毒性データから区分1とした  
コイ LC<sub>50</sub> 96hr 4.0mg/L<sup>1)</sup>  
オオミジンコ EC<sub>50</sub> 48hr 0.0059mg/L<sup>1)</sup>  
藻類 ErC<sub>50</sub> 72hr 5.0mg/L<sup>1)</sup>  
残留性・分解性 : 該当しない  
生体蓄積性 : 該当しない  
土壤中の移動性 : 該当しない  
オゾン層への有害性 : 当該製品には、モンリオール議定書(附属書)に記載された規制物質は含まれない。



13. 廃棄上の注意

残余廃棄物・汚染容器及び包装： 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

14. 輸送上の注意

国内規制 陸上規制情報： 道路法等の規定に従う  
 海上規制情報： 船舶安全法の規定に従う  
 航空規制情報： 航空法の規定に従う  
 特別な安全対策： 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。  
 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。  
 食品、飼料、肥料、種子とできるだけ混載しない。

15. 適用法令

農薬取締法： 第22647号  
 労働安全衛生法： 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条、施行令第18条別表第9）  
 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）  
 MEP(政令番号349)  
 キシレン（政令番号136）  
 エチルベンゼン（政令番号70）  
 消防法： 危険物第4類第2石油類（非水溶性液体）  
 毒物および劇物取締法： 該当しない  
 化学物質管理促進法： (2023年3月31日まで)  
 第1種指定化学物質 MEP 政令番号1-251  
 第1種指定化学物質 キシレン 政令番号1-080  
 第1種指定化学物質 エチルベンゼン 政令番号1-053  
 (2023年4月1日から)  
 第1種指定化学物質 MEP 管理番号251  
 第1種指定化学物質 キシレン 管理番号80  
 第1種指定化学物質 エチルベンゼン 管理番号53

16. その他の情報

記載内容の問合せ先： ホクサン株式会社 営業部 業務課  
 〒061-1111 北海道北広島市北の里27番地4 TEL 011-370-2333  
 引用文献： 1) 農薬登録申請書  
 2) 住友化学(株) 安全データシート（スミチオン原体）2019年1月8日改訂  
 免責条項： 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものであって、特別な取扱いをする場合は用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。



## 住化スミチオン乳剤

Spec ID: 900000015499

作成改訂日: 2017/04/17

## 1. 製品及び会社情報

製品の名称 : 住化スミチオン乳剤 (MEP 乳剤)

## 供給者情報

会社名 : 住友化学株式会社

担当部署 : アグロ事業部 お客様相談室  
〒104-8260

東京都中央区新川 2 丁目 2 7 番 1 号  
電話番号 : 0570-058-669

## 推奨用途及び使用上の制限

用途 : 農薬

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	: 分類できない	
	可燃性/引火性ガス (化学的に不安定なガスを含む)	: 分類対象外	
	エアゾール	: 分類対象外	
	支燃性/酸化性ガス	: 分類対象外	
	高压ガス	: 分類対象外	
	引火性液体	: 区分 3	
	可燃性固体	: 分類対象外	
	自己反応性化学品	: 分類できない	
	自然発火性液体	: 区分外	
	自然発火性固体	: 分類対象外	
	自己発熱性化学品	: 分類できない	
	水反応可燃性化学品	: 区分外	
	酸化性液体	: 分類できない	
	酸化性固体	: 分類対象外	
	有機過酸化物	: 分類できない	
	金属腐食性物質	: 分類できない	
	健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	: 区分 4
		急性毒性 (経皮)	: 区分外
		急性毒性 (吸入-ガス)	: 分類対象外
		急性毒性 (吸入-蒸気)	: 分類できない
急性毒性 (吸入-粉じん及びミスト)		: 分類できない	
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		: 区分外	
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		: 区分 2A	
呼吸器感作性		: 分類できない	
皮膚感作性		: 区分外	
生殖細胞変異原性		: 分類できない	
発がん性		: 区分 2	

## 住化スミチオン乳剤

Spec ID: 900000015499

作成改訂日: 2017/04/17

環境に対する有害性	生殖毒性	: 区分 1A
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 区分 1（神経系、呼吸器系、肝臓、中枢神経系、腎臓）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 区分 1（神経系、呼吸器系）
	吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
	水生環境有害性（急性）	: 区分 1
	水生環境有害性（長期間）	: 区分 1
	オゾン層への有害性	: 分類できない

## GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H226 引火性液体及び蒸気。  
 H302 飲み込むと有害。  
 H319 強い眼刺激。  
 H351 発がんのおそれの疑い。  
 H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。  
 H370 神経系、呼吸器系、肝臓、中枢神経系、腎臓の障害  
 H372 長期にわたる、又は反復ばく露による神経系、呼吸器系の障害。  
 H400 水生生物に非常に強い毒性。  
 H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

安全対策

: P201 使用前に取扱説明書入手すること。  
 P210 熱/火花/裸火/高温表面/静電気放電から遠ざけること。  
 一禁煙。  
 P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
 P240 容器を接地すること/アースをとること。  
 P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明設備/装置を使用すること。  
 P242 火花を発生させない工具を使用すること。  
 P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
 P273 環境への放出を避けること。  
 P264 取扱後は顔と手をよく洗うこと。  
 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 P233 容器を密閉しておくこと。

## 住化スミチオン乳剤

Spec ID: 900000015499

作成改訂日: 2017/04/17

応急措置	: P370 + P378 火災の場合：消火するために噴霧水、乾燥砂を使用すること。 P391 漏出物を回収すること。 P330 口をすすぐこと。 P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P301+P312 飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。 P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。 P314 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。 P321 特別な処置が必要である（「4. 応急措置」参照）。
保管	: P403+P235+P405 換気の良い涼しい場所で施設して保管すること。
廃棄	: P501 国および地方自治体（都道府県市町村）の規則に従って、内容物/容器を適切に廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名または一般名	濃度 (%)	CAS 番号	化審法番号	安衛法番号
0,0-ジメチル-O-(3-メチル-4-ニトロフェニル)-チオホスフェート (一般名: フェントロチオン、MEP)	50.0	122-14-5	(3)-2616	4-(9)-232
有機溶媒・乳化剤等	50.0	非開示	非開示	非開示

## 危険有害成分

化学名または一般名	濃度 (%)	CAS 番号	PRTR 法	安衛法 通知対象	毒劇法
0,0-ジメチル-O-(3-メチル-4-ニトロフェニル)チオホスフェート (一般名: フェントロチオン、MEP)	50.0	122-14-5	該当	該当	該当しない
エチルベンゼン	26 以下	100-41-4	該当	該当	該当しない
キシレン	15 以下	1330-20-7	該当	該当	該当*
灯油	0.56 以下	非開示	該当しない	該当	該当しない
トルエン	0.39 以下	108-88-3	該当*	該当	該当*

\* : 成分としては該当するが、製品中の濃度より製品としては該当しない。

## 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。  
呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行う。  
口対口法を用いてはならない。  
鼻、口、喉を水でゆすぐ。  
体を毛布などで覆い、保温する。  
直ちに医師の診断/手当てを受けること。  
もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。  
物質へのばく露の影響が遅れて出てくることがある。経過観察をする必要がある。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石けん（鹼）で優しく洗うこと。  
直ちに汚染された服と靴を取り除く/脱ぐ。  
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 目を擦ってはならない。  
まぶたを開いた状態に保つ。  
できるだけ早く水で洗い始め、数分間注意深く洗う。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
直ちに医師の診断/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに医師の診断/手当てを受けること。  
吐かせないこと。  
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
体を毛布などで覆い、保温する。  
直ちに医師の診断/手当てを受けること。  
もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。  
呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。  
呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行う。  
口対口法を用いてはならない。  
物質へのばく露の影響が遅れて出てくることがある。経過観察をする必要がある。
- 応急措置をする者の保護 : 救助の際は保護具を着用する（「8. ばく露防止及び保護措置」を参照）。  
本製品が発がん性物質/生殖毒性物質を含むことに注意する。
- 医師に対する特別な注意事項 : 本剤の解毒剤としては、硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されている。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 噴霧水、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤 : 棒状水
- 特有の危険有害性 : 外部火災の熱によって、爆発的に分解するおそれがある。  
消火作業中に爆発するおそれがある。  
混触危険物質（「10. 安定性及び反応性」参照）に留意して、適切な冷却手段にて容器を冷却する。  
燃焼ガスには、刺激性、腐食性および/または毒性のガスが含まれるおそれがある。  
火災の際は有害なガス（「10. 安定性及び反応性」参照）が発生し、めまいや窒息や健康被害を引き起こすおそれがある。  
消火水中に有害物が含まれ、環境や生物に影響を与えることがある。  
消火しても充分冷却されていないと、再度発火するおそれがある。  
火災の過熱によって、容器が爆発するおそれがある場合は、安全な距離を確保して消火活動を行う。
- 特有の消火方法 : 消火活動中に過熱された容器が爆発するおそれがある場合には退避する。  
風上から作業する。  
安全な場所から消火する。  
関係者以外の立ち入りを禁止する。  
大規模火災で大量にある場合：区域より退避させ、爆発の危険性に応じ、離れた距離から消火すること。  
消火は有効に行える最も遠い距離から、モニター付ノズル等を活用し無人化を図る。  
周辺の他の未燃可燃物の防護：可能かつ安全ならば、移動させるか、散水などで冷却する。  
外部火災からの製品防護：可能かつ必要がある場合は、製品の入った容器を安全な場所に移動させ、容器または周辺設備を水等で冷却する。  
容器の移動の際は、衝撃や摩擦を与えないこと。  
火災がとめられない場合は、火災の拡大・類焼を防止するために噴霧散水により冷却しながら燃焼させたままにする。  
危険でなければ漏れを止める。  
消火に用いた水は堰を作って囲い、後で廃棄する。  
物質がちらばらないようにする。
- 消火を行う者の保護 : 適切な全身保護衣および空気式呼吸器(SCBA)を着用する。  
防護面、ヘルメット、手袋を含む耐炎性防火服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : **人体に対する注意事項**  
適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」参照）を着用して、飛沫等の眼または皮膚への付着や、ミストまたは蒸気の吸入をしないようにする。

### 緊急処置

風下の人を退避させ、風上から作業する。  
関係者以外の立ち入りを禁止する。  
周辺環境に、影響（健康被害を含む）を及ぼすおそれがある場合は、周辺の居住者に警告する。  
付近の着火源となるものを、直ちに取り除く。  
大きな安全地帯を設定する。  
大量漏出の場合、蒸気を抑えるために泡を使用する。

### 二次災害の防止策

全ての着火源（熱/火花/裸火/高温表面/静電気放電、等）を取り除く。  
適切な消火剤を準備する（「5. 火災時の措置」を参照）。

環境に対する注意事項 : 環境中に放出しないこと。  
漏出物が水系（河川や下水など）に流入して環境への影響を起ささないように、堤を作って堰止める。  
悪臭または刺激臭が強いので、周辺の住民に漏出したことの通報をするなどの、適切な措置を行う。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出物を密閉式の容器にできる限り集める。  
広がらないように堰を作り、後で廃棄する。  
残留液を乾燥した土、砂や不燃性材料で吸収させ、安全な場所に移す。  
適切な吸収材に吸収させて回収する作業を繰り返し、全量を回収する。  
防爆型の電気機器/換気装置/照明設備/装置を使用すること。  
全ての着火源（熱/火花/裸火/高温表面/静電気放電、等）を取り除く。  
漏洩または漏出物を回収する場合は、専門家のアドバイスを求める。  
回収作業は、安全取扱い（「7. 取扱い及び保管上の注意」参照）措置をしたうえで実施すること。  
廃棄方法は「13. 廃棄上の注意」を参照。  
残留分を注意深く集め、安全な場所に移す。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

- 技術的対策
- : 全ての着火源を取り除く。  
静電気対策（アースやボンディング、帯電防止作業靴と作業服の着用、アースされた導電性床の採用、等）を講じる。  
防爆型の電気機器/換気装置/照明設備/装置を使用すること。  
ミストの発生を防止する。  
漏洩ばく露に備えて、風上から作業する。  
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
設備対策を行い、保護具を着用する（「8. ばく露防止及び保護措置」参照）。  
ミスト/蒸気を吸入しないこと。  
眼や口に入れない、また皮膚に付けない。  
眼、皮膚、衣服への接触を避ける。  
休憩場所には、汚染された保護具を持ち込まないこと。  
皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らない様に適切な保護具を着用する。  
可能な限り、使い捨ての保護衣を着用する。  
汚染された保護衣は、洗浄せずに作業場から出してはならない。  
汚染された保護衣は安全な方法で廃棄すること。
- 局所排気、全体換気
- : 局所排気および/または全体換気を行う。
- 安全取扱注意事項
- : 混触危険物質（「10. 安定性及び反応性」参照）から離しておく。
- 衛生対策
- : 使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
密閉系で取り扱えない場合は、屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
本製品を吸入してはならない。  
皮膚および眼との接触を避けること。  
眼や口に入れない、また皮膚に付けない。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
汚染された保護具は可能であれば作業場から出さないこと。  
汚染された保護具、作業衣等を処分する際は、周辺環境を汚染することがないように適切な方法を用いること。  
取扱後は顔と手をよく洗うこと。

## 保管

- 安全な保管条件 : 耐火設備を備えた場所に保管する。  
保管場所には、必要な採光または照明および換気の設定を設ける。  
防爆型の電気機器/換気装置/照明設備/装置を使用すること。  
施錠して保管すること。  
静電気対策（アースやボンディング、帯電防止作業靴と作業服の着用、アースされた導電性床の採用、等）を講じる。  
容器を接地すること/アースをとること。  
食品、飲料水、動物の餌から離しておく。  
積荷またはパレット間にすきまをあけること。  
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。  
排水管や下水管へのアクセスのない場所で貯蔵する。  
暗所に保管する。  
「10. 安定性及び反応性」を参照。  
乾燥した場所で密閉容器に保管すること。
- 安全な容器包装材料 : 情報なし

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 作業環境における成分別ばく露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標	規制濃度	基準
0,0-ジメチル0-(3-メチル-4-ニトロフェニル)-ホスホオキシレート (フェニトロチオン、MEP) - 経皮吸収	122-14-5	OEL-M	1 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会
エチルベンゼン	100-41-4	ACL	20 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M	50 ppm 217 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会
		TWA	20 ppm	ACGIH
キシレン	1330-20-7	ACL	50 ppm	安衛法 (管理濃度)
		TWA	100 ppm	ACGIH
		STEL	150 ppm	ACGIH
トルエン	108-88-3	ACL	20 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M	50 ppm 188 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会
		TWA	20 ppm	ACGIH
ケロシン (灯油)	8008-20-6	TWA	200 mg/m <sup>3</sup>	ACGIH

- 設備対策 : 吸収装置を備えた局所排気装置および/または全体換気装置を使用する。  
取扱場所に、手洗い設備、洗身洗眼設備を設ける。



## 住化スミチオン乳剤

Spec ID: 900000015499

作成改訂日: 2017/04/17

**保護具**

- 呼吸用保護具 : 呼吸用保護具は、適切な保護具を使用する。  
緊急時および漏出時の措置では、空気呼吸器あるいは循環式酸素呼吸器 (SCBA) を着用する。  
防毒マスク
- 手の保護具 : 手の保護具は、適切な保護具を使用する。  
: 不浸透性保護手袋
- 眼の保護具 : 眼の保護具は、適切な保護具を使用する。  
安全ゴーグルまたは保護眼鏡付き防災面。
- 皮膚及び身体の保護具 : 個人用保護具 (PPE) は、適切な保護具を使用する。  
帽子、靴、合羽等を含む適切な不浸透性保護衣を着用する。

**9. 物理的及び化学的性質**

- 外観 : 液体
- 色 : 黄褐色
- 臭い : わずかな特異臭
- pH : 3.7 (20%分散液、20°C)
- 融点・凝固点 : データなし
- 沸点 : データなし
- 引火点 : データなし  
(エチルベンゼン) : 24.5°C (文献値)
- 蒸発速度 : データなし
- 爆発範囲の上限 : データなし
- 爆発範囲の下限 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 蒸気密度 : データなし
- 比重 : 1.1122 (25°C)
- 密度 : データなし
- 溶解度 (水) : データなし
- 溶媒に対する溶解性 : データなし

## 住化スミチオン乳剤

Spec ID: 900000015499

作成改訂日: 2017/04/17

<i>n</i> -オクタノール／水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	: 熱、化学反応、摩擦、または打撃によって分解が始まり、急激な温度上昇と圧力上昇をもたらすおそれがある。 加熱されると分解して、火災や爆発に至るおそれがある。 蒸気は、空気と爆発性混合気を形成する。 ミストは、温度によらず空気と爆発性混合物を形成するおそれがある。 裸火、機械火花、電気火花、溶接火花、高温表面、摩擦熱、静電気放電：火災や爆発のおそれ 加熱、酸化剤、強酸、強塩基：火災、爆発、および有毒ガスの発生のおそれ
避けるべき条件	: 裸火、機械火花、電気火花、溶接火花、加熱、高温表面、静電気放電、機械的衝撃
混触危険物質	: 強酸、強塩基、酸化剤
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素、すす、窒素酸化物、硫黄酸化物、リン酸化物、アンモニア

## 11. 有害性情報

製品のデータがない場合は 類似製品/成分 のデータを記載しています。

## 急性毒性:

経口:	ラット : LD <sub>50</sub> 1,900 mg/kg マウス : LD <sub>50</sub> 3,000 mg/kg
経皮:	ラット : LD <sub>50</sub> 3,000 mg/kg マウス : LD <sub>50</sub> > 5,000 mg/kg

吸入:	データなし
フェントロフィン	粉じん／ミスト : ラット : LC <sub>50</sub> (4 h) > 2.210 mg/L

皮膚腐食性/刺激性 : ウサギ : 中等度の刺激性あり

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : ウサギ : 中等度の刺激性あり

呼吸器感作性/皮膚感作性 : モルモット 皮膚感作性 (ビューラー法) : 感作性なし

## 住化スミチオン乳剤

Spec ID: 900000015499

作成改訂日: 2017/04/17

## 生殖細胞変異原性:

## in vitro:

フェニトロチオン

データなし

Ames 試験 (ネズミチフス菌および大腸菌): 陰性

染色体異常試験 (チャイニーズハムスター細胞): 陰性

遺伝子突然変異試験 (チャイニーズハムスター細胞): 陰性

## in vivo:

フェニトロチオン

データなし

小核試験 (マウス、経口、骨髄): 陰性

優性致死試験 (げっ歯類): 陰性

## 発がん性:

フェニトロチオン

データなし

ラット 発がん性試験 (混餌): 発がん性なし

マウス 発がん性試験 (混餌): 発がん性なし

エチルベンゼン

ラット 発がん性試験 (吸入): 発がん性あり (腎臓)

マウス 発がん性試験 (吸入): 発がん性あり (肝臓, 肺)

## 専門家判断:

エチルベンゼン

日本産業衛生学会: 2B (ヒトに対して恐らく発がん性があると  
考えられる物質 (証拠が比較的十分でない))ACGIH: A3 (実験動物で発がん性が認められているが、ヒトとの  
関連は不明)

IARC: 2B (ヒトに対して発がん性があるかもしれない)

## 生殖毒性:

## 繁殖性:

フェニトロチオン

トルエン

データなし

ラット 2世代繁殖毒性試験 (混餌): 繁殖性に影響なし

ヒト 疫学情報: 胎児致死作用あり, 生殖能に影響あり

## 催奇形性:

フェニトロチオン

トルエン

データなし

ラット 催奇形性試験 (経口): 催奇形性なし

ウサギ 催奇形性試験 (経口): 催奇形性なし

ヒト 疫学情報: 催奇形性あり

ヒト 疫学情報 (吸入): 胎児致死作用あり

ヒト 臨床報告 (吸入): 出生児に対する影響あり

ラット 催奇形性試験: 催奇形性あり

マウス 催奇形性試験: 催奇形性あり

## 特定標的臓器毒性

## (単回ばく露):

フェニトロチオン

キシレン

ラット (経口): 神経系

ラット (経皮): 神経系

ラット (吸入): 神経系

ラット (吸入): 呼吸器系、肝臓、中枢神経系、腎臓、麻酔作用

ヒト (吸入): 呼吸器系、肝臓、中枢神経系、腎臓、麻酔作  
用、気道刺激性

## 特定標的臓器毒性

## (反復ばく露):

フェニトロチオン

キシレン

データなし

ラット 6ヶ月反復ばく露試験 (混餌): 神経系

ラット 90日間反復ばく露試験 (混餌): 神経系

ウサギ 反復ばく露試験 (経皮): 神経系

ヒト: 呼吸器系、神経系

## 住化スミチオン乳剤

Spec ID: 900000015499

作成改訂日: 2017/04/17

吸引性呼吸器有害性: データなし

その他の影響: データなし

## 12. 環境影響情報

製品のデータがない場合は 類似製品/成分 のデータを記載しています。

水生生物 (急性毒性):

魚類: コイ: LC<sub>50</sub> (96 h) 4.0 mg/L甲殻類: オオミジンコ: EC<sub>50</sub> (48 h) 0.0059 mg/L藻類: 緑藻: ErC<sub>50</sub> (24-72 h) 3.6 mg/L

水生生物 (慢性毒性):

魚類: データなし  
フェイトロチオン: ニジマス: NOEC 0.088 mg/L甲殻類: データなし  
フェイトロチオン: オオミジンコ: NOEC 0.087 μg/L

藻類: 緑藻: NOECr (24-72 h) 0.46 mg/L

その他: ミツバチに対して影響がある

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

国際規制 - オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書のためのハンドブックに掲載なし

## 13. 廃棄上の注意

廃棄方法

国および地方自治体 (都道府県市町村) の規則に従って、内容物/容器を適切に廃棄すること。

## 住化スミチオン乳剤

Spec ID: 900000015499

作成改訂日: 2017/04/17

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

## 陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number) : UN1993  
正式輸送品目名 : 引火性液体、n. o. s. (キシレン混合物)  
(Proper shipping name)  
国連分類 (Class) : 3  
容器等級 (Packing group) : III  
ラベル (Labels) : 3

## 航空輸送 (IATA-DGR)

国連番号 (UN number) : UN1993  
正式輸送品目名 : 引火性液体、n. o. s. (キシレン混合物)  
(Proper shipping name)  
国連分類 (Class) : 3  
容器等級 (Packing group) : III  
ラベル (Labels) : 3  
梱包指示 (貨物機) : 366  
(Packing instruction  
(cargo aircraft))  
梱包指示 (旅客機) : 355  
(Packing instruction  
(passenger aircraft))

## 海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : UN 1993  
正式輸送品目名 : 引火性液体、n. o. s. (キシレン混合物)  
(Proper shipping name)  
国連分類 (Class) : 3  
容器等級 (Packing group) : III  
ラベル (Labels) : 3  
EmS コード (EmS Code) : F-E, S-E  
海洋汚染物質 : 該当  
(Marine pollutant)

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質  
供給された状態の製品には不適用。**

## 国内規制

国内法に従う。

## 緊急時応急措置指針番号

128

**特別の安全対策**

## 備考

: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。  
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に  
行う。  
車輦、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、  
緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

**15. 適用法令****関連法規****消防法**

第4類: 引火性液体, 第二石油類, 非水溶性液体

**化審法**

優先評価化学物質

エチルベンゼン

キシレン

トルエン

**労働安全衛生法**

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2(施行令別表第9)

オトリン酸 0,0-ジメチル-0-(3-メチル-4-ニトロフェニル) (フェニトロチオン)

エチルベンゼン

キシレン

灯油

トルエン

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第57条(施行令第18条)

オトリン酸 0,0-ジメチル-0-(3-メチル-4-ニトロフェニル) (フェニトロチオン)

エチルベンゼン

キシレン

トルエン

特定化学物質障害予防規則

エチルベンゼン

有機溶剤中毒予防規則

第2種有機溶剤等

労働安全衛生法施行令 - 別表第一(危険物)

引火性の物

**毒物及び劇物取締法**

該当しない

住化スミチオン乳剤

Spec ID: 900000015499

作成改訂日: 2017/04/17

**化学物質排出把握管理促進法**

**第1種指定化学物質**

オトリン酸 0,0-ジメチル-0-(3-メチル-4-ニトロフェニル) (フェントロチオン)  
エチルベンゼン  
キシレン

**高圧ガス保安法**

該当しない

**火薬類取締法**

該当しない

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

特別管理産業廃棄物

**水質汚濁防止法**

指定物質 (法第2条 第4項、施行令第3条の3) (フェントロチオン、MEP)  
指定物質 (法第2条 第4項、施行令第3条の3) (キシレン、トルエン)

**農薬取締法**

農薬

---

**16. その他の情報**

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。